

但馬の経済指標

【平成24年4月～6月】

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

- ①日本政策金融公庫豊岡支店の但馬地区小企業動向調査によると、業況判断DIは、前期より19ポイント上昇し、△14となった。
- ②一方、但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より8.2ポイント悪化し、△39.3となった。
- ③有効求人倍率は、6月期0.74倍。前年同月と比べ0.20ポイント増加した。

	区分	項目	今期(4~6月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
1	業況判断 (全業種DI)	日本政策金融公庫豊岡支店	△ 14.0	+ 19.0	+ 21.0
		但馬信用金庫	△ 39.3	△ 8.2	+ 7.1
2	雇用	6月		対前月(増減)	対前年同月(増減)
		有効求人倍率	0.74	+ 0.04	+ 0.20
		6月		前月比(%)	前年同月比(%)
		有効求人数(人)	2,979	+ 0.3	+ 25.4
		有効求職者数(人)	4,002	△ 5.8	△ 8.5
		雇用保険受給者実人員(人)	984	+ 0.2	△ 16.8
3	金融	普通貸付残高(百万円)	10,999	+ 0.2	△ 4.1
		手形交換枚数(枚)	7,974	△ 22.0	△ 16.0
		手形交換金額(百万円)	7,088	△ 24.9	△ 12.5
		今期(4~6月)		対前期(増減)	対前年同期(増減)
		不渡手形枚数(枚)	15	+ 14	+ 14
		不渡手形金額(千円)	19,312	+ 4,637	+ 11,210
		6月		前月比(%)	前年同月比(%)
		信用保証承諾額(百万円)	535	△ 32.4	△ 50.0
信用保証債務残高(百万円)	49,554	△ 0.9	△ 9.9		
4	公共工事	公共工事請負金額(百万円)	2,812	+ 37.8	+ 54.8
5	企業倒産	今期(4~6月)		対前期(増減)	対前年同期(増減)
		件数	2	△ 6	△ 1
		負債総額(百万円)	110	△ 637	△ 1,240
6	地場産業	豊岡かばん		売上高、生産量、収益 ともにやや少ない	売上高、生産量、収益 ともにやや多い

1 業況判断

①日本政策金融公庫豊岡支店

今期の業況判断DIは、前期より19ポイント上昇し、△14となった。

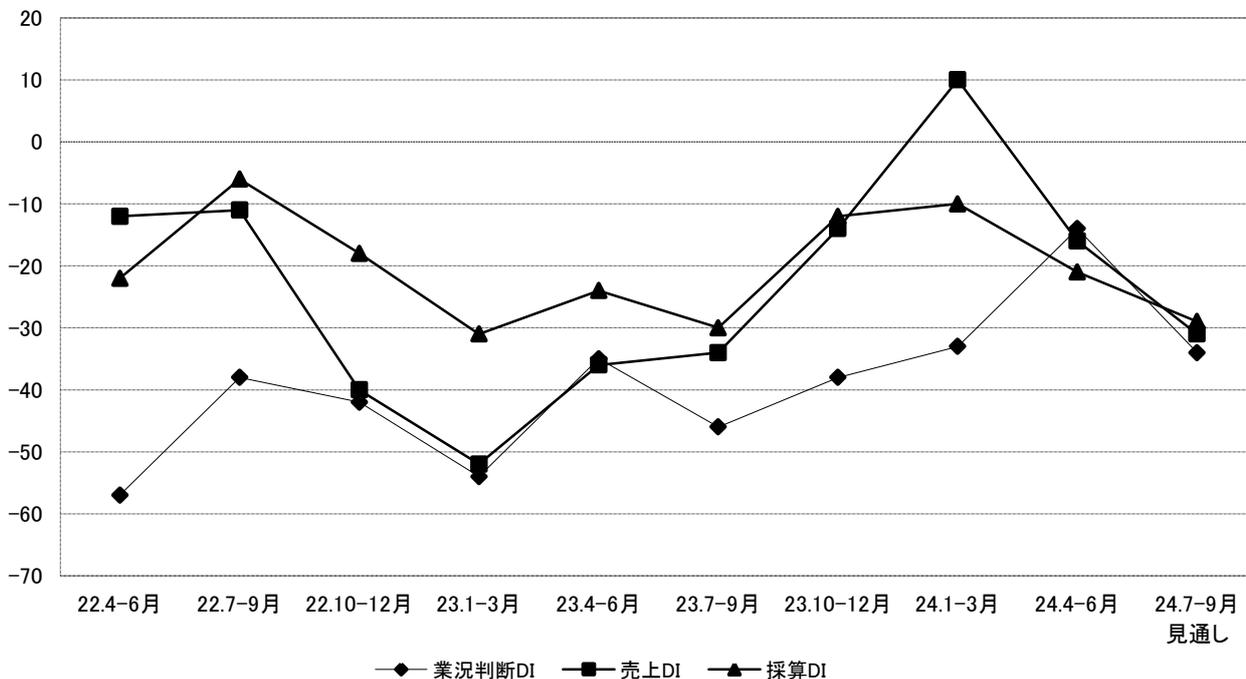
業種別では、製造業・卸売業・建設業で上昇し、その他の業種は低下した。

売上DIは、前期より26ポイント低下し、△16となった。

採算DIは、前期より11ポイント低下し、△21となった。

来期については、業況判断DIが今期より20ポイント低下し、△34となる見通しである。売上DIは△31で、今期より15ポイントの低下、採算DIは△29で、今期より8ポイントの低下となる見通しである。

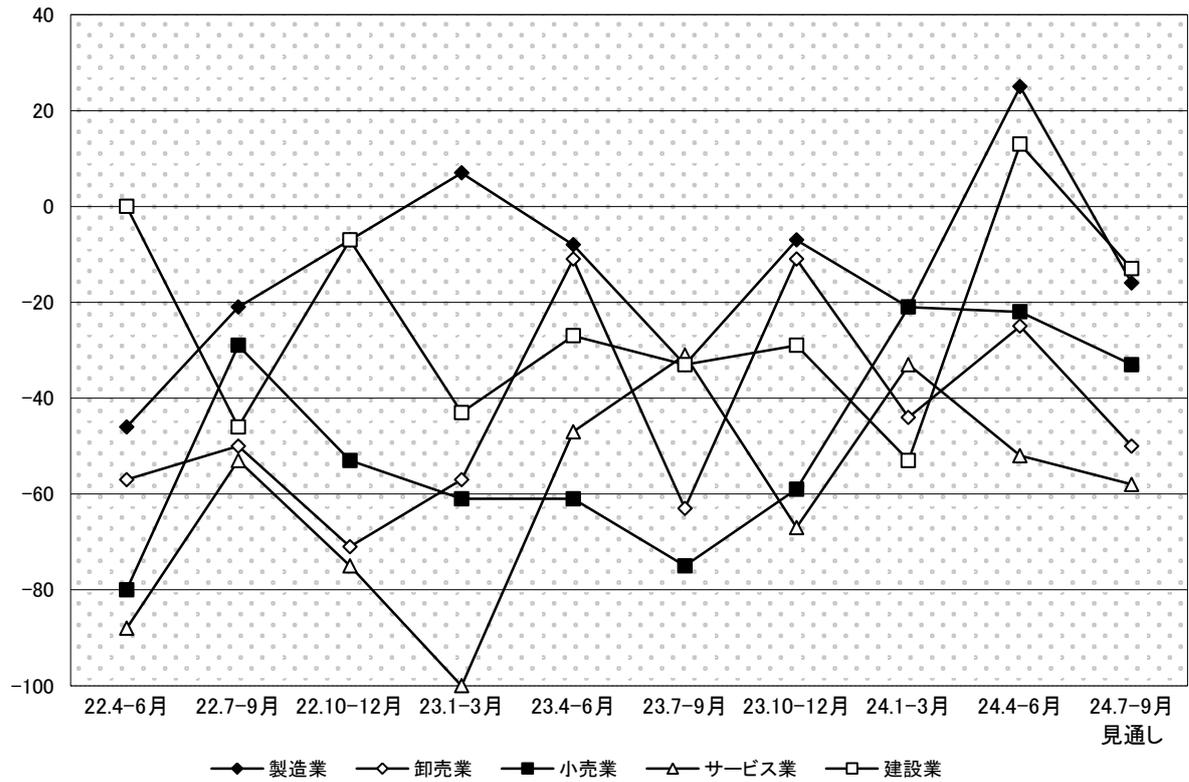
業況判断DIの推移



	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9 見通し
業況判断DI	△ 57	△ 38	△ 42	△ 54	△ 35	△ 46	△ 38	△ 33	△ 14	△ 34
売上DI	△ 12	△ 11	△ 40	△ 52	△ 36	△ 34	△ 14	10	△ 16	△ 31
採算DI	△ 22	△ 6	△ 18	△ 31	△ 24	△ 30	△ 12	△ 10	△ 21	△ 29

出典: 日本政策金融公庫豊岡支店「但馬地区小企業動向調査」

業種別業況判断DI



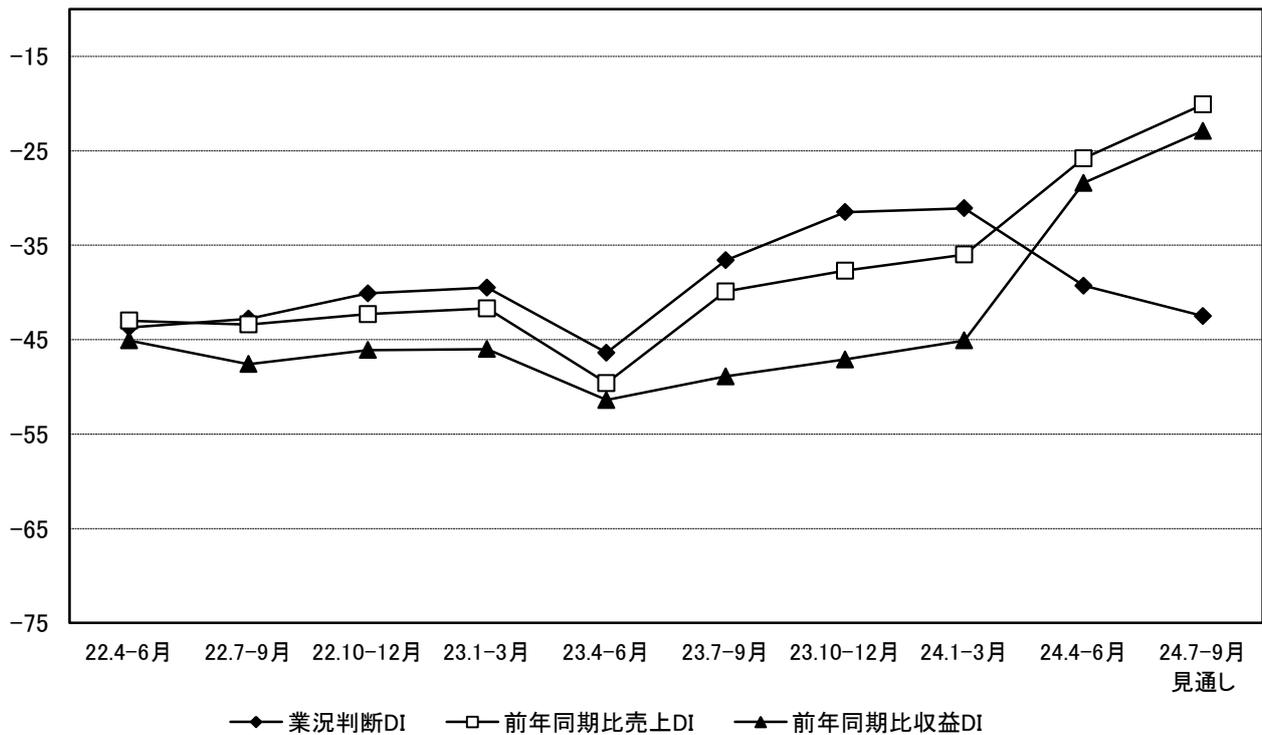
	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9 見通し
製造業	△ 46	△ 21	△ 7	7	△ 8	△ 33	△ 7	△ 21	25	△ 16
卸売業	△ 57	△ 50	△ 71	△ 57	△ 11	△ 63	△ 11	△ 44	△ 25	△ 50
小売業	△ 80	△ 29	△ 53	△ 61	△ 61	△ 75	△ 59	△ 21	△ 22	△ 33
サービス業	△ 88	△ 53	△ 75	△ 100	△ 47	△ 31	△ 67	△ 33	△ 52	△ 58
建設業	0	△ 46	△ 7	△ 43	△ 27	△ 33	△ 29	△ 53	13	△ 13

出典: 日本政策金融公庫豊岡支店「但馬地区小企業動向調査」

②但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より8.2ポイント悪化し、△39.3となった。
 前年同期と比較した売上判断DIは、10.2ポイント改善し△25.8となった。
 前年同期と比較した収益判断DIは、16.7ポイント改善し、△28.4となった。
 来期については、業況判断DIが今期より3.2ポイント悪化し、△42.5に、
 売上判断DIは△20.1、収益判断DIは△22.9となる見通しである。

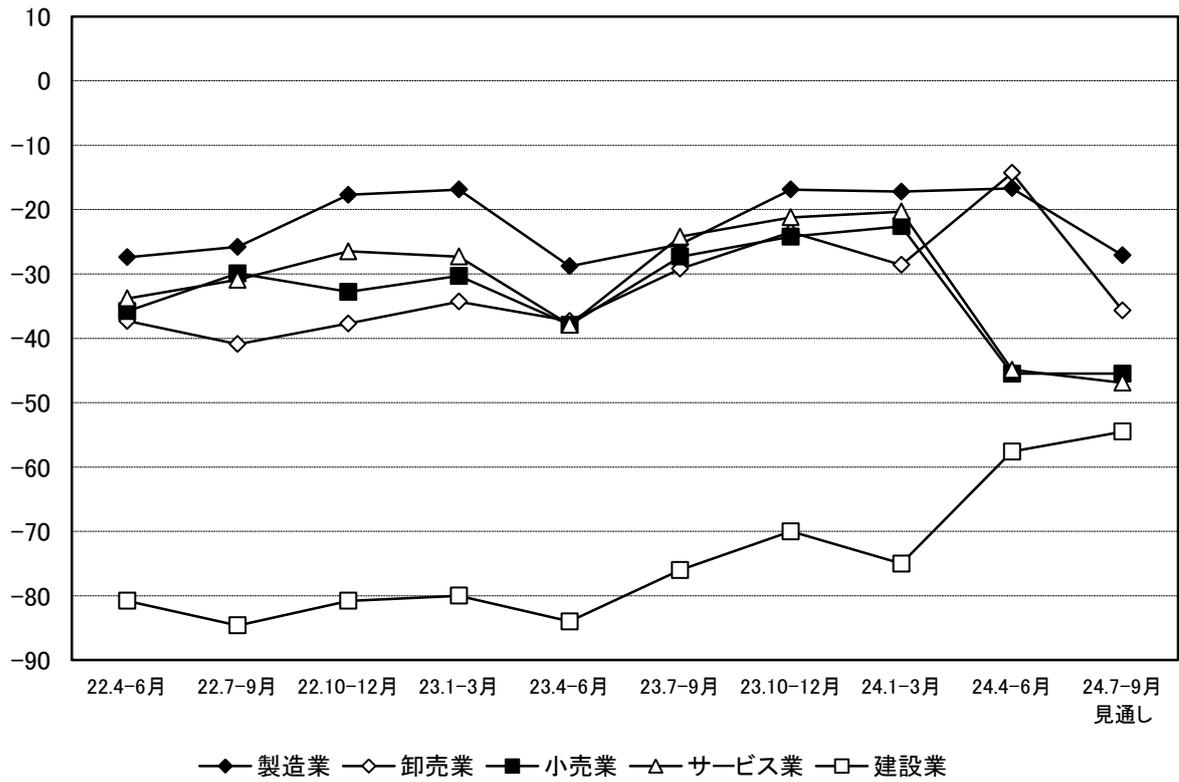
業況判断DIの推移



	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9 見通し
業況判断DI	△ 43.7	△ 42.8	△ 40.1	△ 39.5	△ 46.4	△ 36.6	△ 31.5	△ 31.1	△ 39.3	△ 42.5
前年同期比売上DI	△ 43.0	△ 43.4	△ 42.3	△ 41.7	△ 49.6	△ 39.9	△ 37.7	△ 36.0	△ 25.8	△ 20.1
前年同期比収益DI	△ 45.1	△ 47.6	△ 46.1	△ 46.0	△ 51.4	△ 48.9	△ 47.1	△ 45.1	△ 28.4	△ 22.9

出典:但馬信用金庫「但馬管内景気動向調査」

業種別業況判断DI

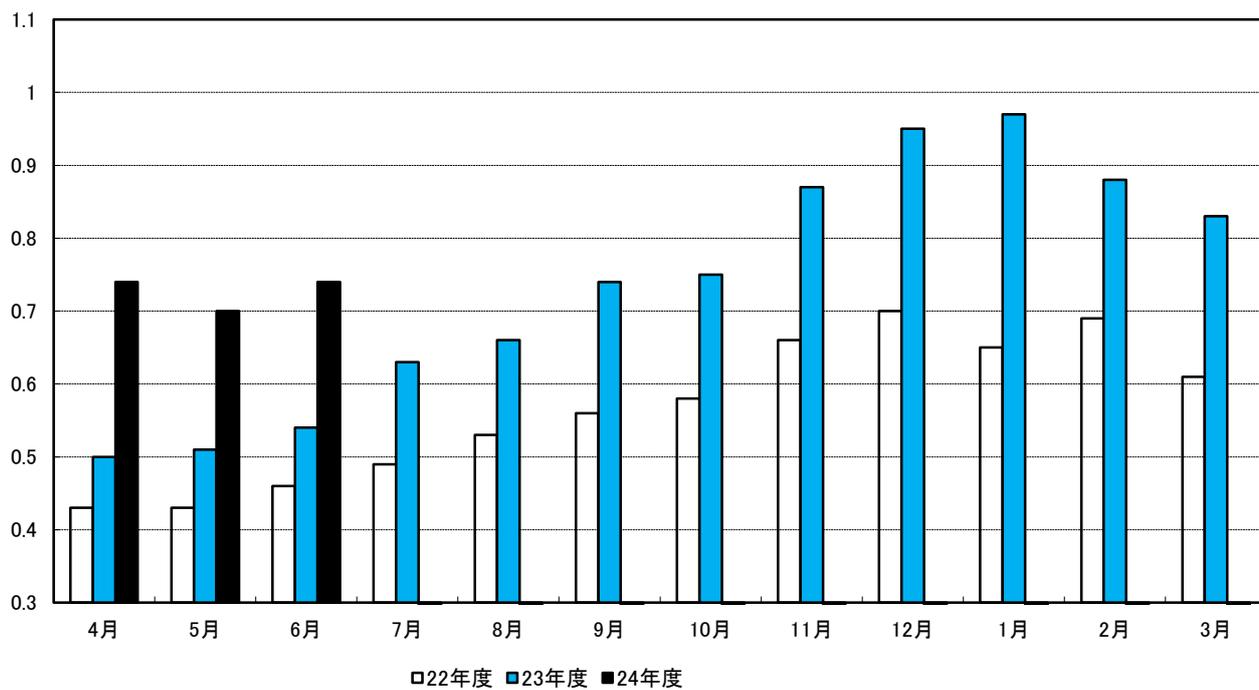


	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9 見通し
製造業	△ 27.4	△ 25.8	△ 17.7	△ 16.9	△ 28.8	△ 25.4	△ 16.9	△ 17.2	△ 16.7	△ 27.1
卸売業	△ 37.3	△ 40.9	△ 37.7	△ 34.3	△ 37.3	△ 29.2	△ 23.5	△ 28.6	△ 14.3	△ 35.7
小売業	△ 35.8	△ 29.9	△ 32.8	△ 30.3	△ 37.9	△ 27.3	△ 24.2	△ 22.6	△ 45.5	△ 45.5
サービス業	△ 33.8	△ 30.9	△ 26.5	△ 27.3	△ 37.9	△ 24.2	△ 21.2	△ 20.3	△ 44.9	△ 46.9
建設業	△ 80.8	△ 84.6	△ 80.8	△ 80.0	△ 84.0	△ 76.0	△ 70.0	△ 75.0	△ 57.6	△ 54.5

出典:但馬信用金庫「但馬管内景気動向調査」

2 雇用

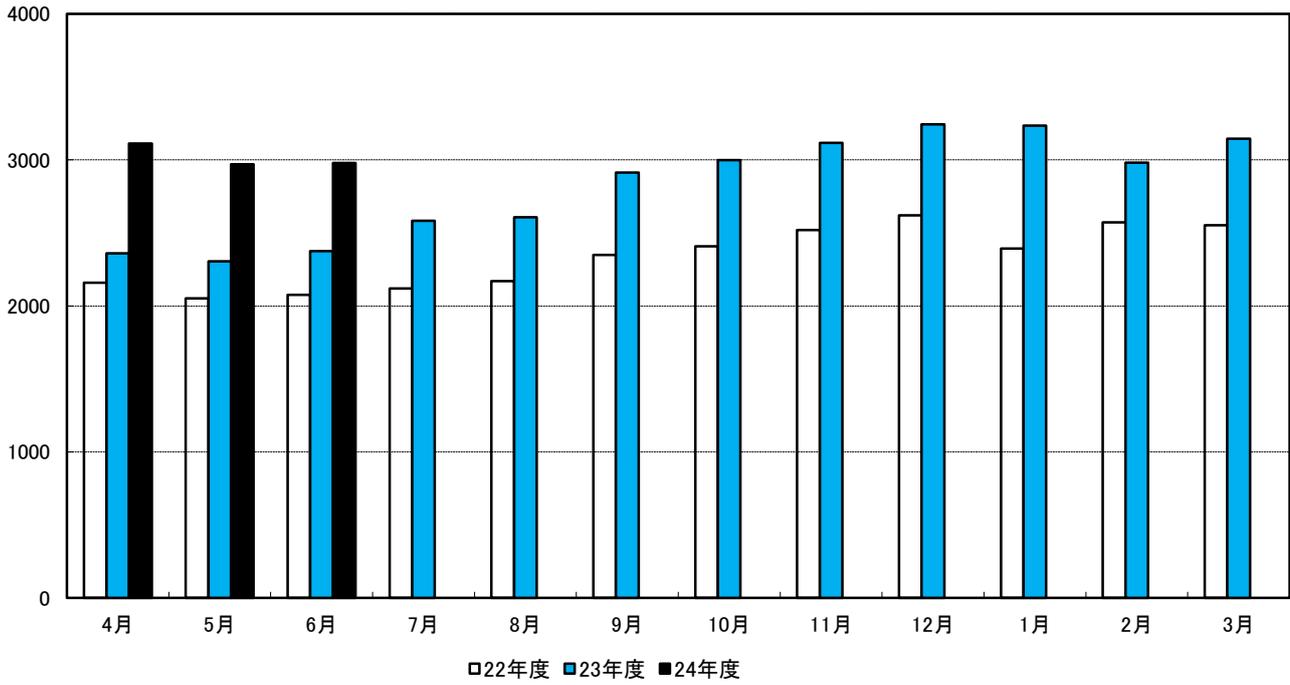
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	0.43	0.43	0.46	0.49	0.53	0.56	0.58	0.66	0.70	0.65	0.69	0.61	0.57
23年度	0.50	0.51	0.54	0.63	0.66	0.74	0.75	0.87	0.95	0.97	0.88	0.83	0.74
24年度	0.74	0.70	0.74										0.73
対前月 (増減)	△ 0.09	△ 0.04	0.04										-
対前年 (増減)	0.24	0.19	0.20										-

出典:厚生労働省兵庫労働局「月報ひょうご」

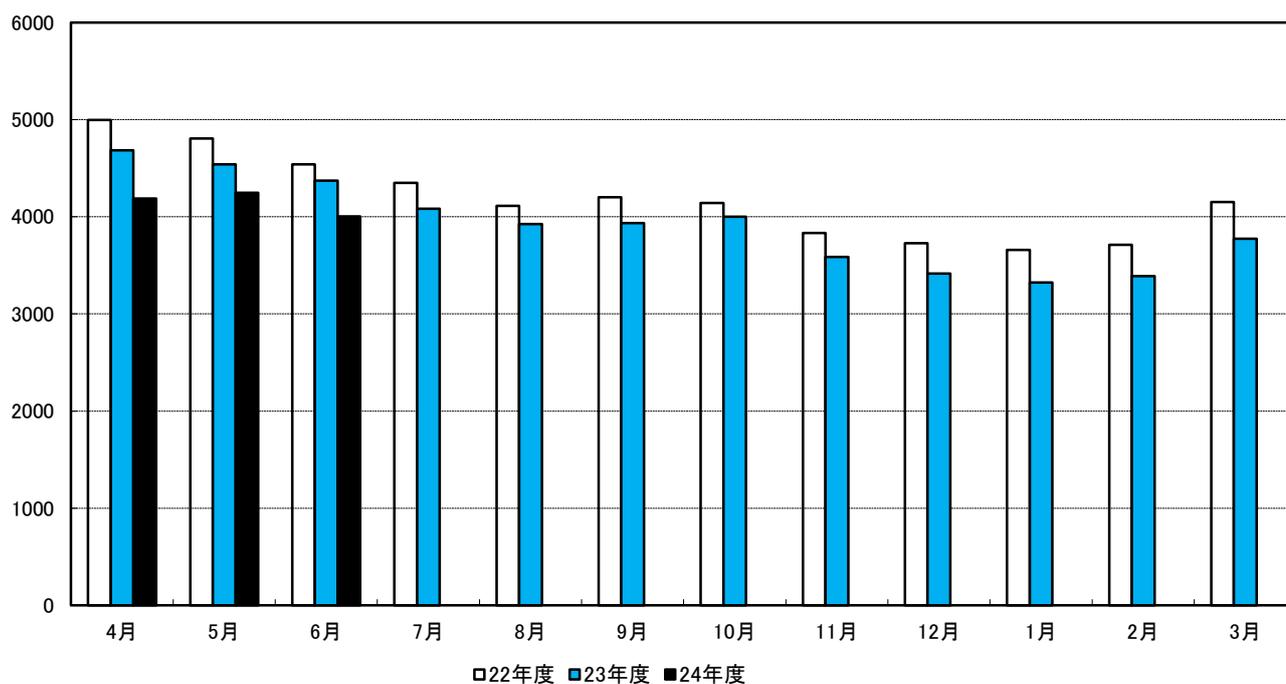
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	2,159	2,052	2,075	2,120	2,169	2,350	2,409	2,520	2,620	2,393	2,572	2,552	2,333
23年度	2,359	2,306	2,376	2,584	2,607	2,914	2,999	3,118	3,243	3,235	2,982	3,145	2,822
24年度	3,113	2,970	2,979										3,021
前月比(%)	△ 1.0	△ 4.6	0.3										-
前年同月比(%)	32.0	28.8	25.4										-

出典:厚生労働省兵庫労働局「月報ひょうご」

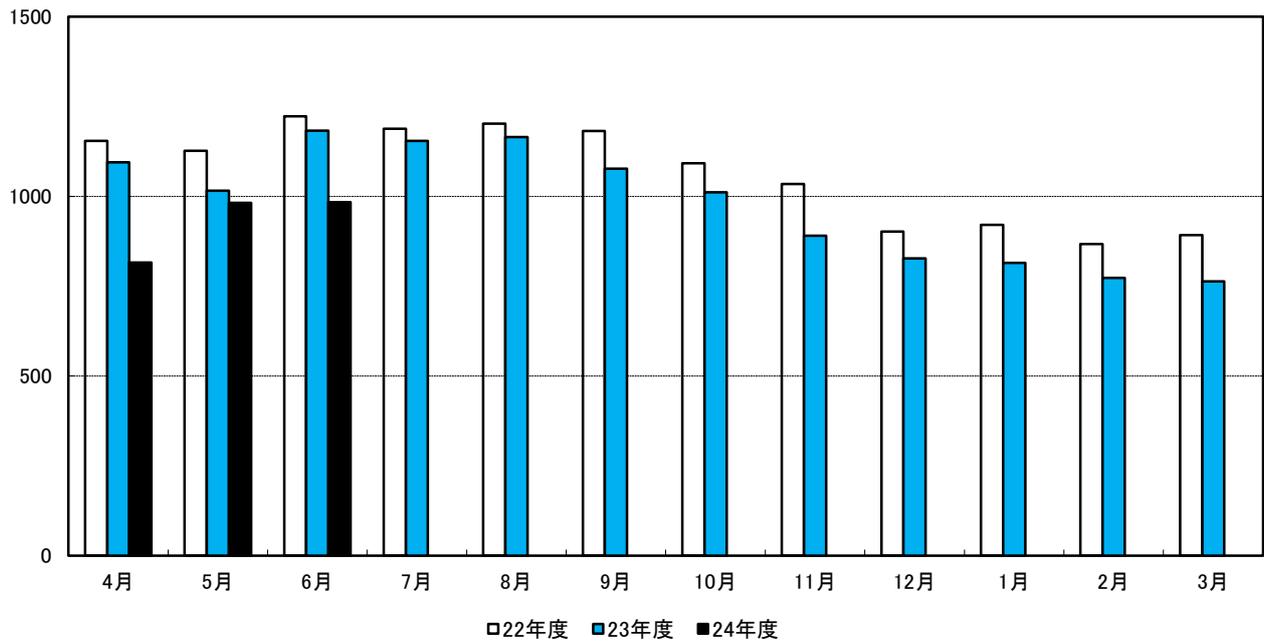
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	4,995	4,807	4,539	4,348	4,113	4,201	4,143	3,831	3,727	3,658	3,711	4,151	4,185
23年度	4,683	4,539	4,372	4,081	3,926	3,934	3,999	3,586	3,416	3,324	3,388	3,773	3,918
24年度	4,188	4,248	4,002										4,146
前月比(%)	11.0	1.4	△ 5.8										-
前年同月比(%)	△ 10.6	△ 6.4	△ 8.5										-

出典:厚生労働省兵庫労働局「月報ひょうご」

雇用保険受給者実人員(人)

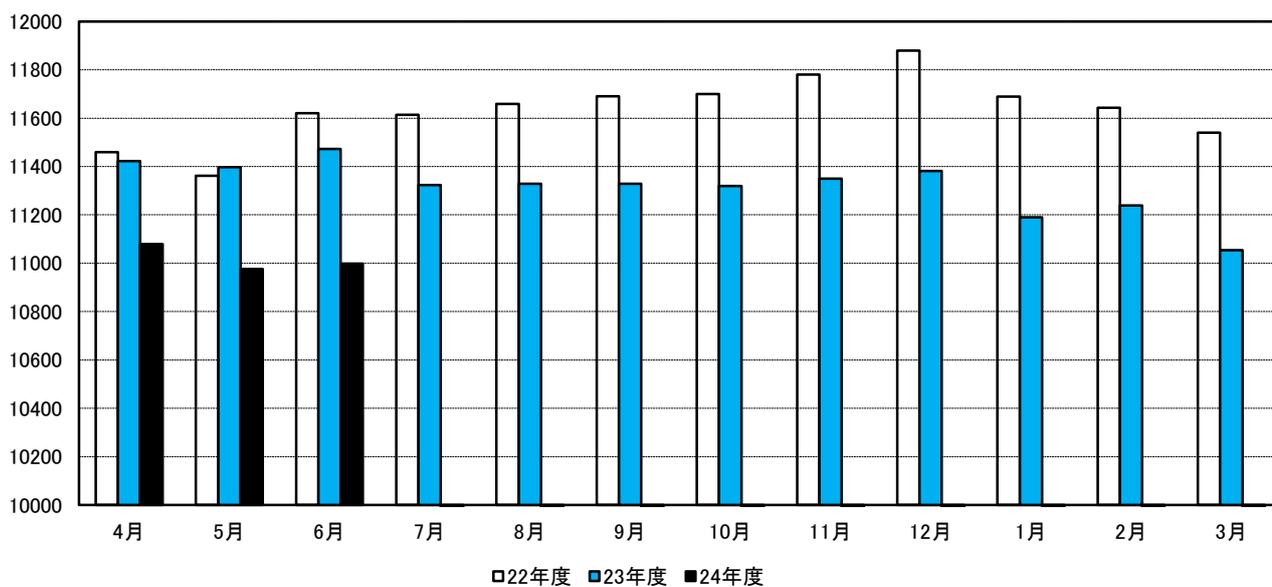


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	1,154	1,127	1,223	1,188	1,202	1,182	1,092	1,034	902	921	867	892	1,065
23年度	1,095	1,016	1,183	1,154	1,165	1,077	1,011	890	827	815	773	763	981
24年度	816	982	984										927
前月比(%)	6.9	20.3	0.2										-
前年同月比(%)	△ 25.5	△ 3.3	△ 16.8										-

出典:厚生労働省兵庫労働局「月報ひょうご」

3 金融

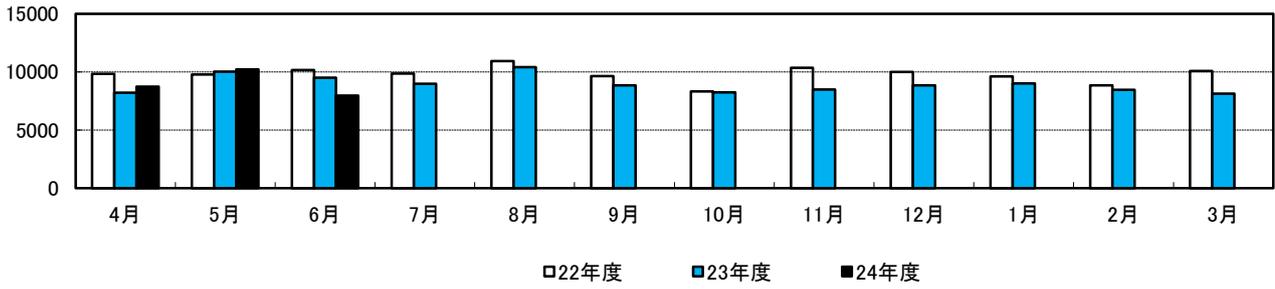
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	11,460	11,362	11,621	11,614	11,659	11,690	11,700	11,780	11,880	11,689	11,643	11,540	11,637
23年度	11,422	11,398	11,473	11,324	11,329	11,329	11,319	11,350	11,382	11,190	11,239	11,054	11,317
24年度	11,079	10,976	10,999										11,018
前月比 (%)	0.2	△ 0.9	0.2										-
前年同月比 (%)	△ 3.0	△ 3.7	△ 4.1										-

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

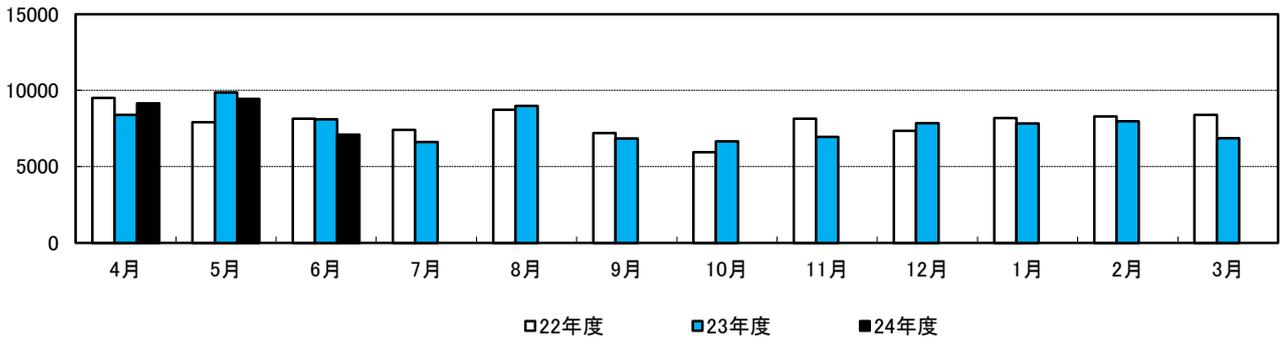
手形交換枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	9,816	9,761	10,165	9,849	10,937	9,625	8,327	10,364	9,992	9,607	8,853	10,081	9,781
23年度	8,206	10,032	9,493	8,981	10,399	8,847	8,229	8,484	8,844	9,002	8,465	8,117	8,925
24年度	8,743	10,224	7,974										8,980
前月比 (%)	7.7	16.9	△ 22.0										-
前年同月比 (%)	6.5	1.9	△ 16.0										-

三井住友銀行豊岡支店 集計

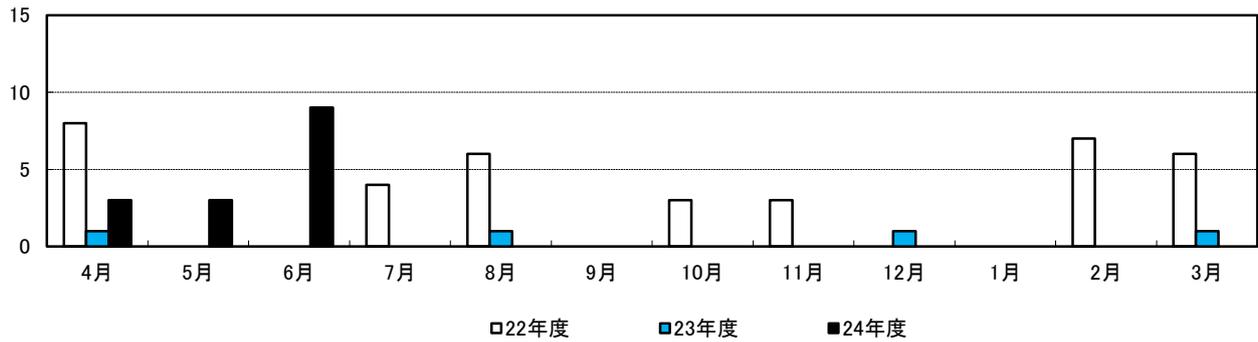
手形交換金額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	9,503	7,909	8,143	7,407	8,727	7,191	5,949	8,151	7,340	8,176	8,295	8,383	7,931
23年度	8,392	9,852	8,097	6,617	8,981	6,835	6,645	6,939	7,843	7,833	7,977	6,865	7,740
24年度	9,153	9,443	7,088										8,561
前月比 (%)	33.3	3.2	△ 24.9										-
前年同月比 (%)	9.1	△ 4.2	△ 12.5										-

三井住友銀行豊岡支店 集計

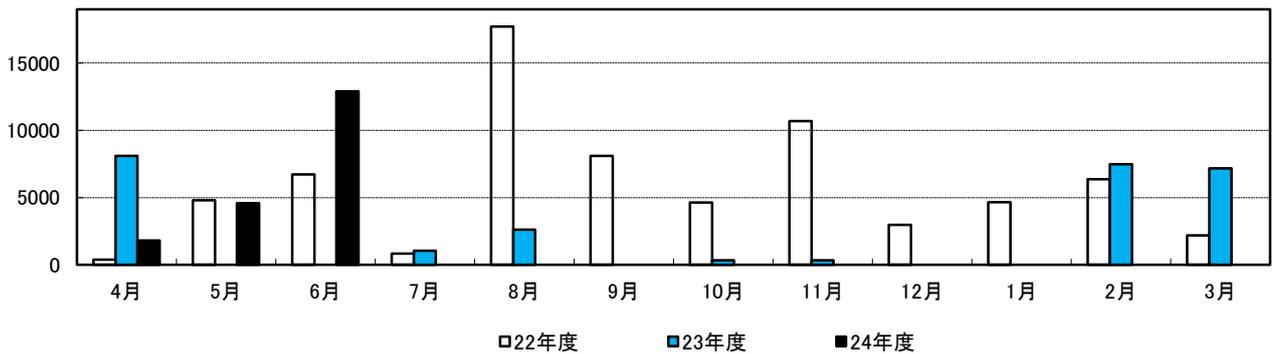
不渡交換枚数(枚)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22年度	8	0	0	4	6	0	3	3	0	0	7	6	37
23年度	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
24年度	3	3	9										15

三井住友銀行豊岡支店 集計

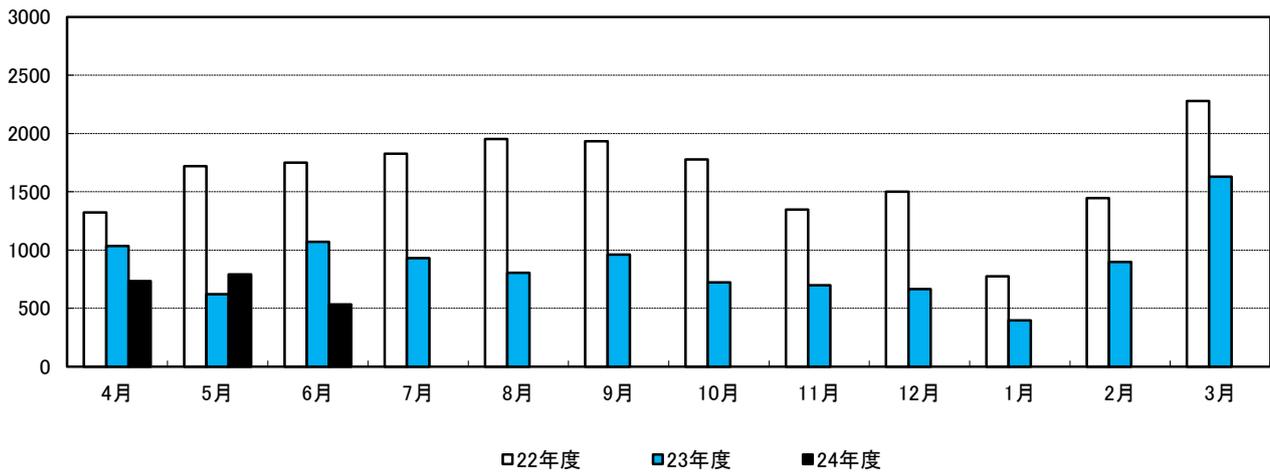
不渡交換金額(千円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22年度	387	4,811	6,730	845	17,729	8,101	4,628	10,692	2,971	4,656	6,355	2,180	70,085
23年度	8,102	0	0	1,039	2,625	0	324	336	0	0	7,493	7,182	27,101
24年度	1,816	4,594	12,902										19,312

三井住友銀行豊岡支店 集計

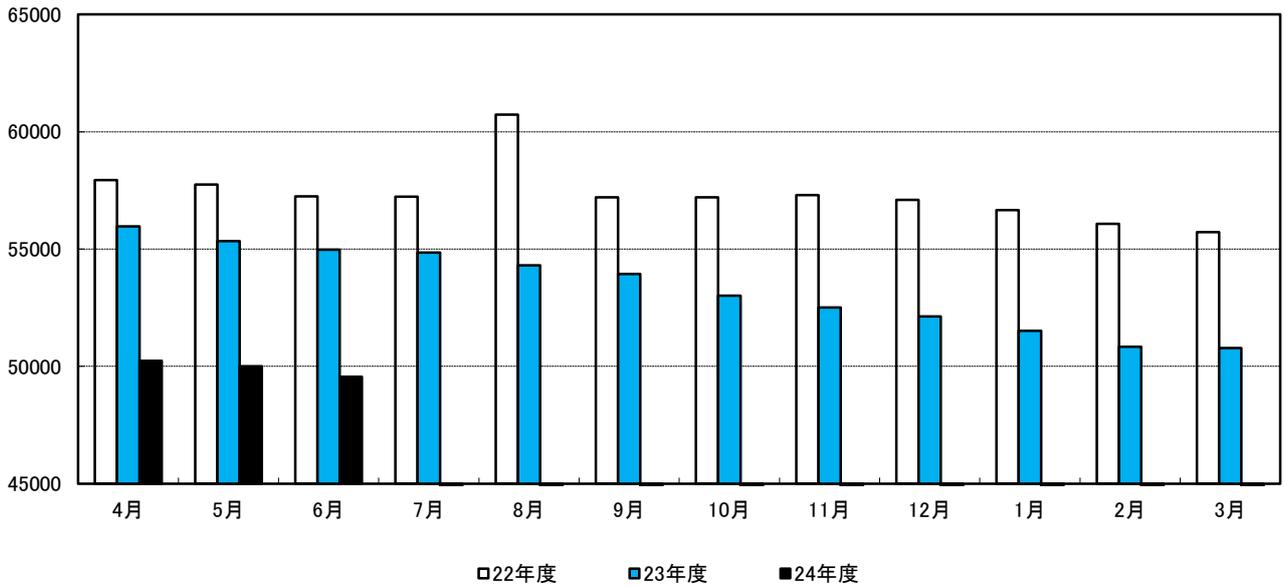
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	1,322	1,721	1,749	1,826	1,953	1,934	1,778	1,348	1,502	776	1,447	2,278	1,636
23年度	1,036	621	1,071	930	804	960	723	697	665	396	899	1,630	869
24年度	734	792	535										687
前月比 (%)	△ 55.0	7.9	△ 32.4										-
前年同月比 (%)	△ 29.2	27.5	△ 50.0										-

出典:兵庫県信用保証協会「信用保証月報」

信用保証債務残高(百万円)

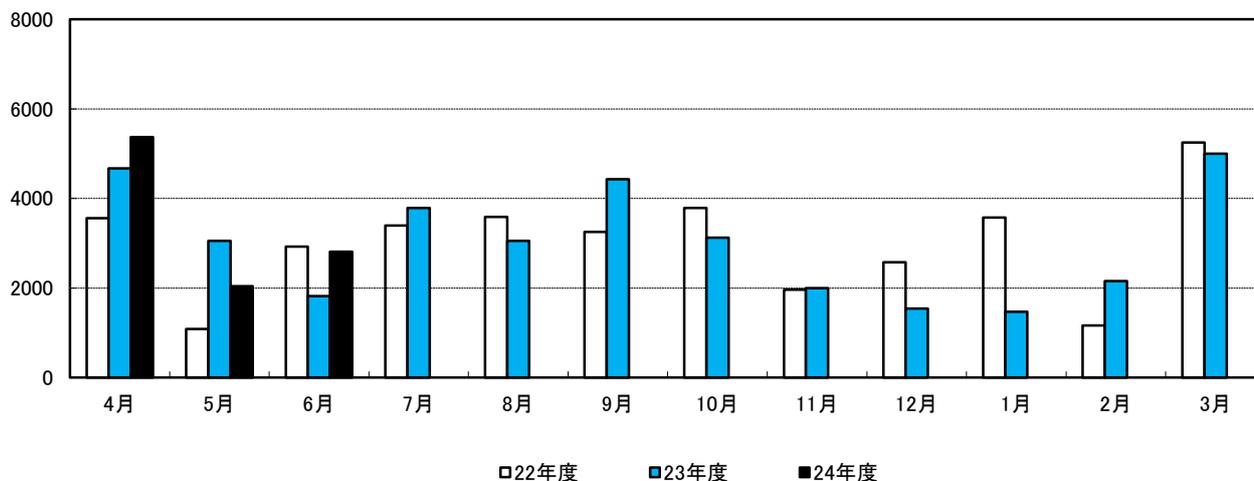


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	57,937	57,748	57,242	57,226	60,728	57,205	57,209	57,302	57,089	56,664	56,075	55,719	57,345
23年度	55,967	55,338	54,978	54,844	54,302	53,934	53,016	52,505	52,135	51,511	50,841	50,786	53,346
24年度	50,240	50,003	49,554										49,932
前月比 (%)	△ 1.1	△ 0.5	△ 0.9										-
前年同月比 (%)	△ 10.2	△ 9.6	△ 9.9										-

出典:兵庫県信用保証協会「信用保証月報」

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

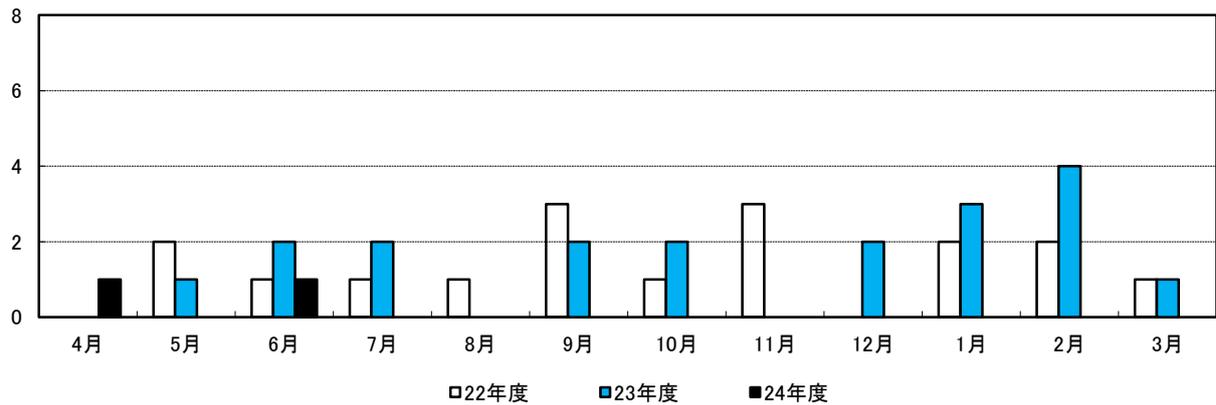


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22年度	3,560	1,085	2,923	3,398	3,586	3,253	3,784	1,964	2,577	3,575	1,161	5,252	3,010
23年度	4,669	3,056	1,817	3,784	3,051	4,431	3,121	2,000	1,538	1,471	2,151	4,999	3,007
24年度	5,374	2,040	2,812										3,409
前月比(%)	7.5	△ 62.0	37.8										-
前年同月比(%)	15.1	△ 33.2	54.8										-

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

5 企業倒産

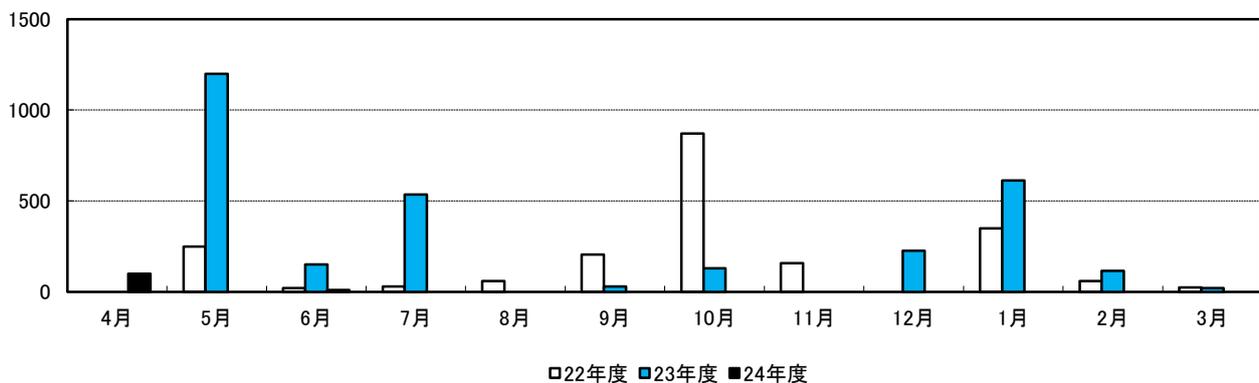
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22年度	0	2	1	1	1	3	1	3	0	2	2	1	17
23年度	0	1	2	2	0	2	2	0	2	3	4	1	19
24年度	1	0	1										2

出典:兵庫県産業労働部産業政策局経営支援課「融資実績及び倒産状況報告」

企業倒産負債総額(百万円)

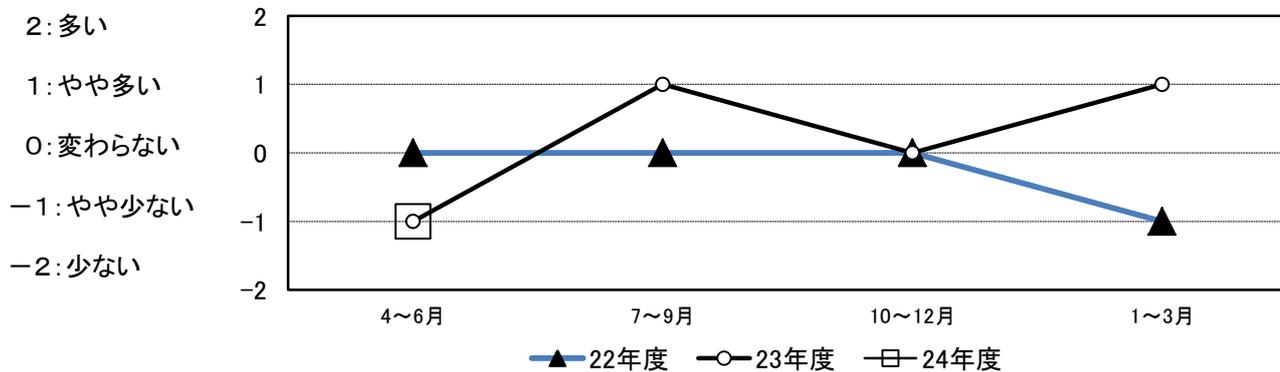


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22年度	0	250	20	30	60	205	870	158	0	350	60	25	2,028
23年度	0	1,200	150	535	0	30	130	0	227	612	115	20	3,019
24年度	100	0	10										110

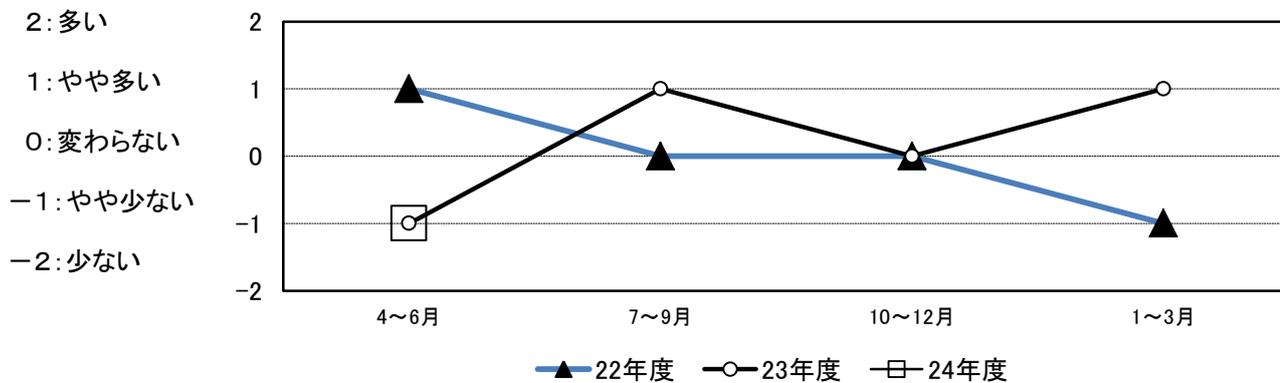
出典:兵庫県産業労働部産業政策局経営支援課「融資実績及び倒産状況報告」

6 地場産業(豊岡かばん)

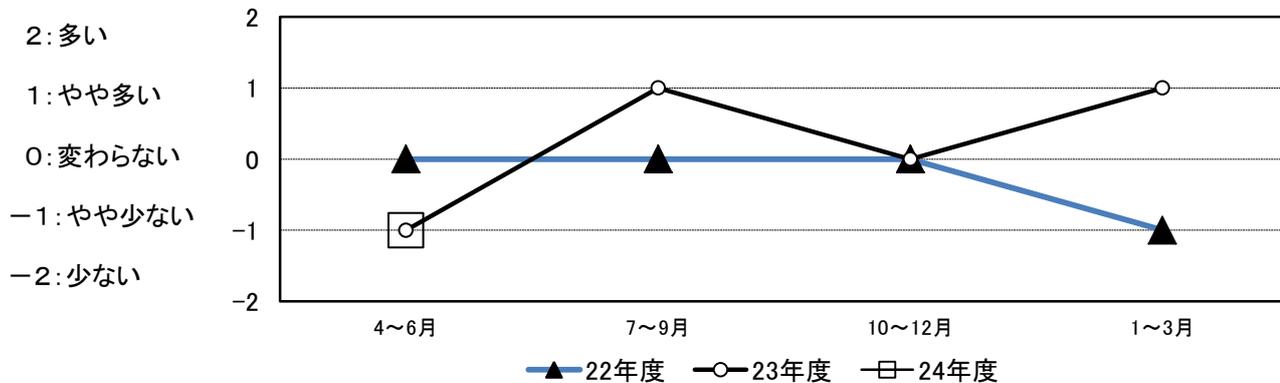
豊岡かばん 売上高 (前期比)



豊岡かばん 生産量 (前期比)

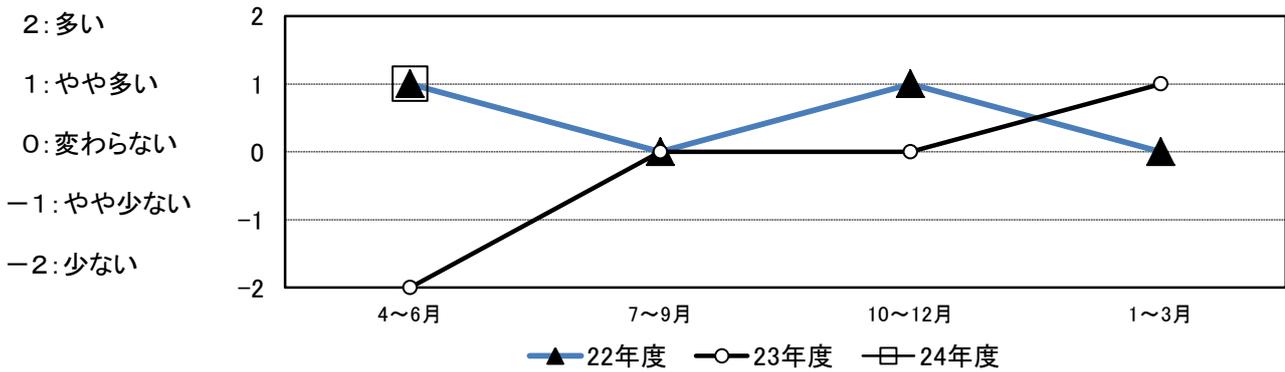


豊岡かばん 収益 (前期比)

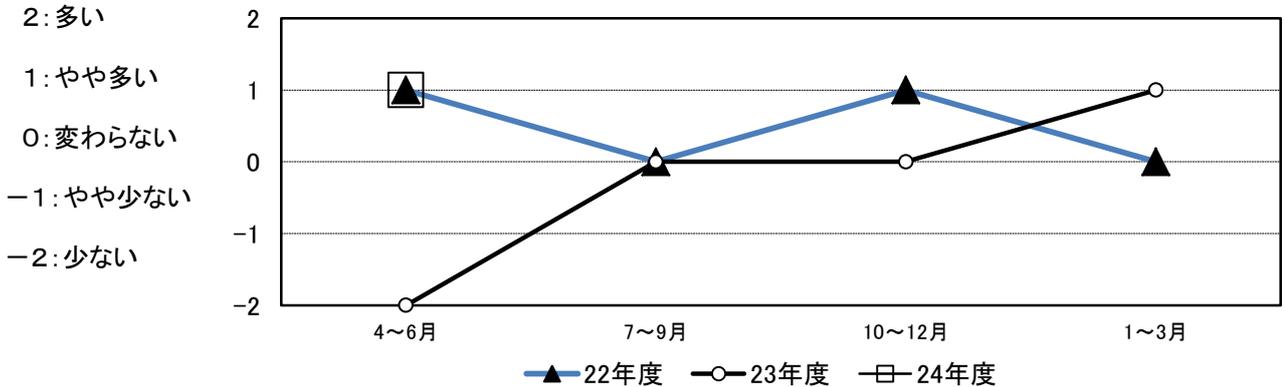


前期(平成24年1月～3月)と比較すると、学生かばんの関係が一段落したため、売上高、生産量、収益ともにやや少ない。

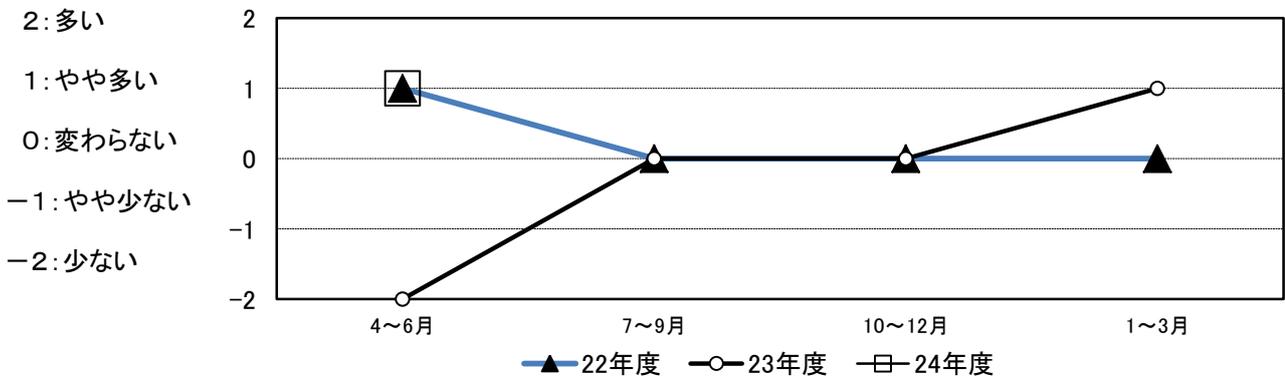
豊岡かばん 売上高（前年同期比）



豊岡かばん 生産量（前年同期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前年同期(平成23年4月～6月)と比較すると、東日本大震災の影響が少なくなり、売上高、生産量、収益ともにやや多く、業績が回復した。

秋・冬物戦線として、6月に展示会を開催し、販路拡大を図った。

豊岡鞆協会 回答

7 その他

【建設業】

当地域では、冬場の売り上げが落ち込み、春にかけて増加する傾向にあるため、前期(平成24年1月～3月)に比べ、売上高はやや多くなっているものの、全体的に仕事量が少なく、価格競争が厳しいため、受注高、収益はともにやや少ない。

今年は、例年に比べ、春需の出だしが悪く、6月以降に動きが出ているため、前年(平成23年4月～6月)に比べ、受注高は変わらないものの、売上高はやや少なく、収益もやや少ない。

前期(平成24年1月～3月)と比べると、受注高、売上高はやや多いものの、収益は変わらず。

前年同期(平成23年4月～6月)と比べると、受注高はやや多いものの、売上高はやや少なく、収益は横ばいである。

消費増税に伴う需要の増加等、多方面に影響が出てくると思われる。今後の景況動向にも注視していく必要がある。

【小売業】

前期(平成24年1月～3月)、前年同期(平成23年4月～6月)に比べ、売上高、収益ともに変わらず。郊外に生活資材を全般的に扱う「ドラッグストア」が次々に開店する中で、商店街の各店はそれなりに影響を受けていると考える。

このような厳しい状況の中で生き残っていくには、他店との差別的積極専門化が強く求められていると思う。

【水産業】

前期(平成24年1月～3月)、前年同期(平成23年4月～6月)に比べ、売上高、入荷量、収益ともにやや少ない。魚離れの影響か、値動きがよくない。